

第 5 回以降の流域委員会の進め方

第 5 回以降の流域委員会の進め方について

円山川の現状を把握するという今年度の目的において、現地の状況把握として現地視察を行って情報の共有化を図りました。そこで、今後の委員会の進め方として、第 5 回以降の流域委員会の進め方について審議願います。

(1) 現地視察について

- ・ 第 4 回流域委員会において視察できなかった場合、その視察地点の取り扱いについて
- ・ 上流部の県管理区間の現地視察について

(2) 2 回の現地視察を振り返って

第 3 回・第 4 回と直轄管理区間について現地視察を行った結果、円山川流域の現状に対して、各委員が感じた事について、「現地視察を振り返って」との題目で、

- ・ どの視察地点に興味を持ったか
- ・ 新たに把握できたことは何か
- ・ その他

のような内容で事前に 200 字程度の小文等を含めた内容のアンケートを実施し、集計した結果を庶務から報告して委員から補足していただき、質問等も含めて議論を行う。

(3) 情報の共有化に向けて

第 1 回流域委員会で概略説明された「円山川とその流域の概要」の各部についてさらに詳しく、流域の自然から川と係わりのある生活、文化まで整理して認識を深めていくことを目的として、その内容について議論を行う。

- ・ 情報の共有化の方法
 - 委員からの情報提供
 - 河川管理者からの情報提供
 - その他
- ・ これまでの委員会の中で挙げられた情報の共有化を行う項目
 - 円山川流域の特徴
 - 河川計画、河川改修について
 - 整備状況
 - 河川改修の歴史と現状

(4)「円山川への想い」

第2回流域委員会時に実施したアンケート結果をもとに、「円山川への想い」として、各委員が円山川に対して考え・想っていることについてフリーディスカッションあるいはフリートークにより意見集約を行い、円山川の将来に伝える姿について考えていく。

